

102-30

問題文

GABAトランスアミナーゼを阻害し、抗てんかん作用を示すのはどれか。1つ選べ。

1. ガバペンチン
2. エトスクシミド
3. ジアゼパム
4. ゾニサミド
5. バルプロ酸

解答

5

解説

抗てんかん薬はその作用機序により大きく4つに分類されます。i. GABA 受容体タイプ、ii. Na^+ チャネル遮断タイプ、iii. T 型 Ca^{2+} チャネル遮断タイプ、iv. GABA トランスアミナーゼ阻害タイプ です。GABA トランスアミナーゼ阻害タイプの代表的な薬は、バルプロ酸です。よって、正解は 5 です。

ちなみに、ガバペンチンは、2つの作用機序により効果を発現します。Ca チャネル $\alpha 2\sigma$ リガンドとしての作用と GABA トランスポーター活性化です。

エトスクシミドは、T 型 Ca^{2+} チャネル遮断タイプです。

ジアゼパムは、ベンゾジアゼピン (Bz) 系の薬です。GABA 受容体タイプの薬です。

ゾニサミドは様々な機序により作用を示す薬です。(抗てんかんだけでなく、パーキンソン病にも適応あり。)